

非核平和友好都市宣言推進事業

令和4年度 広島平和記念式典

参加報告書



令和4年度中学生代表8名 原爆ドームを背に撮影

上越市

## 発行に当たって

上越市は、戦後 50 年の節目に当たる平成 7 年に非核平和友好都市を宣言し、豊かな自然と長い歴史に培われた美しい郷土を末永く守るため、核兵器を廃絶し、世界の恒久平和に向け、たゆみない努力を続けることを誓いました。

以来、この宣言の趣旨を普及・啓発するため、毎年 8 月 6 日に行われる広島平和記念式典への参加のほか、平和展の開催や戦争体験談集の発行など様々な事業に取り組んでいます。

令和 2、3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で派遣を中止しておりましたが、今年度は 3 年ぶりに中学生代表 8 人が広島平和記念式典に参列しました。

この冊子は、広島平和記念式典に参加し、犠牲者に鎮魂の祈りを捧げ、平和の尊さを直に体験されたみなさんの現地での活動内容や感じたこと、伝えたいことなどまとめたものです。

本冊子が平和について考える一助となれば幸いです。

令和 4 年 11 月



上 越 市

# 目次

事業の日程	1
活動レポート	
・ 事前説明会	2
・ 出発式	3
・ 袋町小学校平和資料館・本川小学校平和資料館 吉川中学校 3年 角張 愛	4
・ 広島平和記念資料館 浦川原中学校 3年 滝沢 健也	5
・ 平和記念公園 春日中学校 3年 田原 衣咲	6
・ 原爆の子の像（献鶴） 上越教育大学附属中学校 3年 星野 聖菜	7
・ 平和記念式典（広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式） 八千浦中学校 3年 保田 真里亜	8
・ 献花・献水慰霊式 柿崎中学校 3年 吉崎 智成	9
・ 呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム） 清里中学校 3年 坂田 咲	10
・ 灯ろう流し 城東中学校 3年 小松 檜太	11
・ 宮島	12

非核平和友好都市宣言

## 事業の日程

### 【事前説明会】 令和4年7月23日（土）

時間 午後2時～3時30分

場所 高田図書館 第1、2会議室ほか

内容 自己紹介、事業説明、平和展見学など

### 【出発式】 令和4年8月5日（金）

時間 午前6時～6時20分

場所 上越妙高駅 もてなしドーム

内容 参加者紹介、市長激励のあいさつ、折り鶴の付託及び誓いの言葉

### 【派遣日程】

#### 8月5日（金）

- ・ 移動（上越妙高駅～広島駅）
- ・ 袋町小学校平和資料館 見学
- ・ 広島平和記念資料館 見学
- ・ 平和記念公園 見学

#### 8月6日（土）

- ・ 原爆の子の像 献鶴
- ・ 広島市原爆死没者慰霊式及び平和祈念式 参列
- ・ 献花・献水慰霊式 参列
- ・ 呉市海事歴史科学館 見学
- ・ 灯ろう流し

#### 8月7日（日）

- ・ 宮島 見学
- ・ 本川小学校平和資料館
- ・ 移動（広島駅～上越妙高駅）
- ・ 解散



# 広島平和記念式典中学生派遣事業 活動レポート

作成:事務局

内 容	事前説明会 自己紹介 事業説明 平和展の見学ほか
実施日	令和4年7月23日(土) 午後2時～3時30分
場 所	高田図書館 第1、2会議室ほか

## 広島平和記念式典中学生派遣事業 「事前説明会」

- 1 開会  
あいさつ
- 2 スタッフ紹介
- 3 アイスブレイク(仲間づくり活動)
- 4 日程説明  
当日の日程説明  
新型コロナウイルス感染症対応について
- 5 報告書等の作成について
- 6 役割決め  
(1) 挨拶・献鶴・献花・献水役など  
(2) 担当見学先
- 7 平和展見学
- 8 閉会



代表生徒たちは真剣な表情で説明を受けていました。



最初は緊張していたようですが、アイスブレイクを通じて徐々に打ち解けていきました。

### 感じたこと、伝えたいこと

報告書の作成における担当見学先の割り振りの際、生徒全員が積極的に担当する役割を希望し、現地で一生懸命学ぼうという意欲が伝わってきました。

# 広島平和記念式典中学生派遣事業 活動レポート

作成:事務局

内 容	出発式 参加者紹介 市長激励のあいさつ 折り鶴の付託及び誓いの言葉
実施日	令和4年8月5日(金) 午前6時～6時20分
場 所	上越妙高駅 もてなしドーム

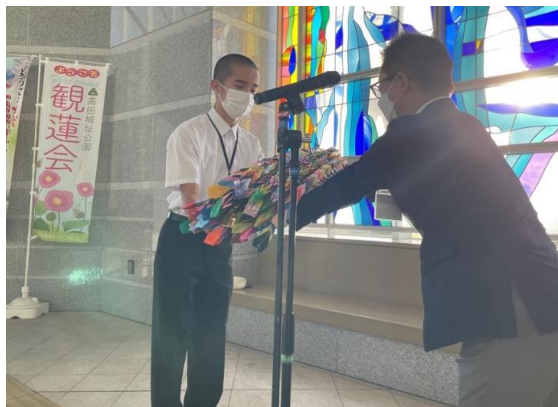
いよいよ広島に向けて出発です。中川市長(代読 早川教育長)から激励の言葉をいただきました。

早朝にも関わらず、見送りに来ていただいた保護者、学校関係者の皆様ありがとうございました。



市内全中学校の生徒と平和展に訪れた方々が作成した折り鶴は、派遣者を代表して城東中学校 小松 槍太さんが早川教育長から受け取りました。

小松さんは、「上越市の代表として皆さんの想いを広島に届けてきます。」と意気込みを語りました。



### ～平和への誓い～

77年前の8月6日、広島に原爆が投下されました。被爆された方をはじめ、戦争を経験された方は年々少なくなり、私たちはもちろん、多くの人にとって、今ある平和が当たり前のことと感じ、戦争を知らない世代になってきました。

私たち8人は各中学校の代表として、この広島平和記念式典派遣事業に参加します。

代表として、一人でも多くの友人や家族に平和の尊さと戦争の悲惨さを伝えられるよう、広島で多くのものを見て、聞いて、感じたいと思います。

令和4年8月5日 春日中学校 田原 衣咲

### 感じたこと、伝えたいこと

代表生徒たちは、折り鶴に託された上越市民の想いと自らの使命感を胸に、元気いっぱい広島市へ向かいました。

# 広島平和記念式典中学生派遣事業 活動レポート

作成: 吉川中学校 3年 角張 愛

場 所	袋町小学校平和資料館 本川小学校平和資料館
訪 問 日	令和4年8月5日(金曜日) 午後2時45分～3時15分 令和4年8月7日(日曜日) 午前10時45分～11時15分
事前に調べたこと	爆心地に非常に近いところにあり、私たちとそう変わらない年齢の子どもたちがたくさん犠牲になったことを伝える戦争遺産です。校舎の壁には当時のメッセージが残されていたり、爆風で溶けた戸枠が残っていたりします。実際に現地を訪れ戦争の悲惨さ、凄惨さを学んでいきたいと思います。

## ・袋町小学校平和資料館

### 校舎の壁が繋いだ言葉

袋町小学校は被爆当時の校舎が残されており、その校舎の壁には探している家族の名前がありました。中には先生が生徒に向けて、先生の自宅の住所を書き、そこに来るよう呼びかけたものもありました。

実際に見て、家族や友達を必死に探していたのだと考えるととても悲しくなりました。

そのような気持ちを抱く人が後世に再び現れないよう戦争を無くしていかなければならないと思いました。



### 平和を願った折り鶴

袋町小学校には全国から贈られた折り鶴が飾ってあります。この写真以外にも多くの折り鶴が飾ってあり、たくさんの人が平和を願っているのだと強く実感することができました。

中には折り鶴で文字をかたどっている千羽鶴もあり、平和はもちろん様々なメッセージを伝えようとしているんだなと思いました。



## ・本川小学校平和資料館

### 77年前の悲劇を忘れない為に

本川小学校は爆心地から最も近く(410m)で被害を受けた小学校です。1988年の4月に校舎の一部と地下室だけを残し、現在の本川小学校が造られました。本川小学校は一部被爆の跡が残されており、原爆の恐ろしさを感じることが出来ました。特に、熱風によって溶けた戸枠を見た時には、もしも自分が戦時中にここにいたら、間違いなく死んでいただろうし、もしも生き残っても、後遺症が残って普通の生活を送ることは叶わないだろうと思いました。

また、本川小学校には「安らかに眠ってください 過ちは繰返ませぬから」という有名な言葉が飾られています。この言葉にあるように、戦争という過ちを2度と繰り返さないように核兵器の恐ろしさや、平和の大切さを訴えて行かなければならないと思いました。

### 感じたこと、伝えたいこと

広島に原爆が落とされてから77年が経ち、当時のことを知っている人は少なくなってきています。戦争のことを忘れないために、現代に生きる私たちは原爆の恐ろしさを知り、後世に伝えていかなければならないんだと強く思いました。



# 広島平和記念式典中学生派遣事業 活動レポート

作成: 浦川原中学校 3年 滝沢 健也

場 所	広島平和記念資料館
訪 問 日	令和4年8月5日(金曜日) 午後3時30分～4時45分
事前に調べたこと	本館と東館があり、本館では被爆者の遺品や被爆の惨状を示す資料が展示されています。東館では被爆前と被爆後の広島、広島に原爆が投下された経緯などが展示されています。原爆の被害がどれほどのものだったのか学んでいきたいと思います。

## 被爆後の広島

右の写真は、原爆が投下されて間もない頃の広島の様子です。原爆が投下される前の広島市は、今の広島市の様子とあまり変化がありません。ですが、たった一発の原爆で、その周りの建物をほとんど全壊させる威力があると考えるととても恐ろしいです。



## 被爆者の遺品

資料館には被爆に関するさまざまなものや写真、絵が展示されていました。

中でも私の心に深く残っているのは左の写真などの被爆した方々の遺品です。被爆したことによって、ビリビリに破けた服や、焼け焦げた弁当箱など、見るだけでも心が痛みました。

## 広島に投下された原子爆弾、リトルボーイ

右の写真は、広島に投下された原爆、リトルボーイを8分の1の縮尺で展示されていたものです。4トンほどの重さで、被害を及ぼす大本となったウランという元素は50キロ程入っていたそうですが、実際に反応を起こしたウランは1キロにも満たなかったそうです。



## 感じたこと、伝えたいこと

広島へ行って、原爆投下当時の絵や写真を見て、戦争はあってはならないこと、たくさんの人の命を奪ったこと、それらを再確認できました。この報告書を見た人が私と同じように、戦争、原爆が及ぼした甚大な被害を再確認してくれると嬉しいです。



# 広島平和記念式典中学生派遣事業 活動レポート

作成:春日中学校 3年 田原 衣咲

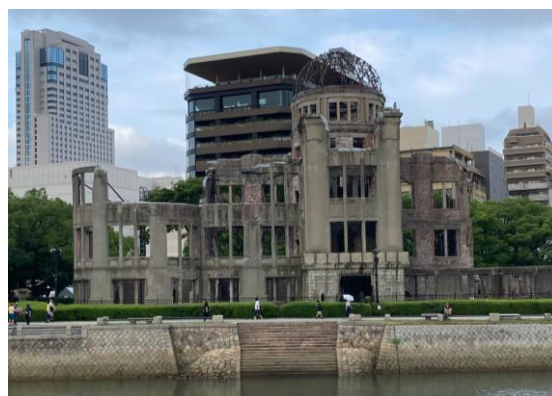
場 所	広島平和記念公園
訪 問 日	令和4年8月5日(金曜日) 午後4時45分～6時15分
事前に調べたこと	平和記念公園は、原爆死没者の慰霊と世界恒久平和を祈念して開設された都市公園です。 ガイドの方のお話を聞き、慰霊碑やモニュメントに込められた広島の人々の平和への想いをしっかりと学んできたいと思います。

平和記念公園の見学では、特に次の3つが印象に残りました。

## 原爆ドーム

広島県産業奨励館として使用されていた原爆ドームは、爆心地から約160mの場所で被爆し、天井から火を吹いて全焼しました。現在は世界文化遺産に登録されています。

原爆によって傷ついたものは絶対に忘れてはいけない「負の遺産」です。過ちを繰り返さないためには後世に残していかなければいけません。



## 平和の時計塔

人類が初めて原爆被害に遭った時刻、午前8時15分になると時計から平和のメロディーが流れます。

被爆された方々の平和への願いは毎日、広島の街に鳴り響いています。



## グラウンド・ゼロ

平和記念公園は盛り土によって地面ができています。そのため、当時の地面はごく一部しか残っていません。

実際にその地面に手を触れると、戦争によって辛い思いをした多くの方々の心情が伝わってきて、とても胸が痛くなりました。それと同時に、二度と戦争をしてはいけないということを改めて感じる事ができました。

## 感じたこと、伝えたいこと

園内の慰霊碑やモニュメントで戦争の悲惨さを目の当たりにし、今ある幸せは当たり前なことではないのだから感謝の気持ちを忘れずに毎日を過ごさなければいけないなと感じました。

今回の広島派遣で学んだことを1人でも多くの友人や家族に伝えるなど、戦争を経験していない人にも平和の尊さを知ってもらえるように、今の自分にできることを探していきたいと思います。

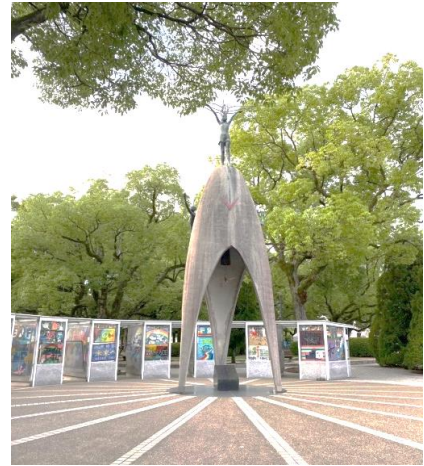
# 広島平和記念式典中学生派遣事業 活動レポート

作成:上越教育大学附属中学校 3年 星野 聖菜

参加行事場所	原爆の子の像(献鶴) 広島平和記念公園
訪問日	令和4年8月6日(土曜日) 午前6時45分～6時55分
事前に調べたこと	2歳で被爆し、10年後に白血病を患い、12歳で亡くなった佐々木禎子さんは闘病生活の中で「鶴を千羽折ると病気が治る」と信じ、薬の包み紙や包装紙などで1,300羽以上の鶴を折り続けました。

## 原爆の子の像

原爆の子の像は、広島平和記念公園内にあり、禎子さんの死をきっかけに、原爆で亡くなった多くの子供たちの霊を慰めるために、募金を集い全国3,100校余りの生徒と、国外からの支援により、1958年5月5日に建設されました。



## 献鶴

「原爆の子の像」に捧げられる数多くの折り鶴を雨露から守るため、2002年4月に、像の周囲に新たに屋根付きの折り鶴台(ブース)が整備されました。

ブースには、糸を通した千羽鶴だけでなく、折り鶴で「平和」を文字や絵で表現した鶴もありました。

## 石碑

原爆の子の像の真下にある石碑には、「これはぼくらの叫びです これは私たちの祈りです 世界に平和をきずくための」と刻まれています。

内部には鐘があり、中に吊られている折り鶴を象(かたど)った金色の錘(かね)が風を受けて揺れると、風鈴のように鳴る仕掛けになっています。



## 感じたこと、伝えたいこと

原爆による被害は大きく、尊い命だけでなく広島の人々の心や文化を一発の原子爆弾が全て奪っていきました。原爆投下後、黒い雨に打たれ数年後に原爆症を発症するなど長い期間人々を苦しめました。今を生きる私たちは、安全に暮らせていますが、それは決して「当たり前」ではないのです。私は、77年前の事実を学び、大切な人達と過ごせるこの日々に感謝して過ごしていこうと思いました。

# 広島平和記念式典中学生派遣事業 活動レポート

作成:八千浦中学校 3年 保田 真里亜

参加行事場所	平和記念式典(広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式) 広島平和記念公園内
訪問日	令和4年8月6日(土曜日) 午前8時00分～8時50分
事前に調べたこと	毎年、広島県広島市で原爆が投下された8月6日に原爆死没者慰霊碑の前で行われます。原爆死没者の霊を慰め、世界恒久平和を祈念するための式典です。広島の方々の平和への思いや式典に参列した方々の思いを学んでいきたいと思ひます。

## 式典の流れ

### 開式

#### 1 原爆死没者名簿奉納

4,907名の名簿が納められました。

合計33万3,907名の名簿が原爆死没者慰霊碑に納められています。

毎年、1冊だけ白紙で納められている名簿冊子があります。それは、名前がわからない方のために白紙で納めています。

#### 2 式辞

#### 3 献花

#### 4 黙とう・平和の鐘

#### 5 平和宣言

#### 6 放鳩

#### 7 平和への誓い

子ども代表の平和への誓いで印象に残っている言葉が2つあります。

1つ目は「戦争は、昔のことではない」という言葉です。今も、世界のどこかで戦争は起きています。毎日、幸せに暮らせていることが当たり前ではないと感じました。

2つ目は「本当の強さとは、違いを認め、相手を受け入れること、思いやりの心を持ち、相手を理解しようとする」という言葉です。自分勝手に物事を進めるのではなく、相手のことを考え、発言や行動をし、思いやりの心をもつことはとても大切だと思ひました。

#### 8 あいさつ

#### 9 ひろしま平和の歌

### 閉式



遺族の方が献花をしています。国会議員の方や被爆者の方など大勢の方が献花をしました。



子どもから大人まで多くの方が参列しました。海外から99か国とEU代表の方も参列しました。

## 感じたこと、伝えたいこと

式典に参列し、命の尊さや戦争の恐ろしさ、77年前に起きたことが一生消えないという事実を改めて感じました。広島の方々の平和への思いが多くの方に伝わってほしいと思ひました。



# 広島平和記念式典中学生派遣事業 活動レポート

作成: 柿崎中学校 3年 吉崎 智成

参加行事場所	献花・献水慰霊式 広島平和記念公園内
訪問日	令和4年8月6日(土曜日) 午前9時20分～10時45分
事前に調べたこと	広島被爆者援護会は、被爆の事実を語り継ぎ、事実を伝える活動を行っています。この慰霊式では毎年上越市の派遣団が参列しています。どんな思いがあって行っているのか、学びたいと思います。

## この会の流れ

- 1 開会のあいさつ
- 2 黙祷
- 3 開催者あいさつ
- 4 ご来賓あいさつ
- 5 平和の誓い

平和の誓いでは、たくさんの方々が平和への想いを語ってくれました。

## 6 献花

広島被爆者援護会に日本全国の小中高校からたくさんの献花が送られていました。



## 7 献水

被爆した方々が水を求めて元安川に飛び込んだことから献水が行われています。また、僕も献水をしましたが、心がぐっと締め付けられるような思いになりました。



全国から送られてきた献花

## 8 千羽鶴献納

## 9 お礼の言葉

広島被爆者援護会の方は「いろいろな体験を語り継ぎ、平和の輪を広げていきたい。」とおっしゃっていました。なので、自分もこの平和学習をいろいろな人に伝えていきたいです。

## 感じたこと、伝えたいこと

広島被爆者援護会の方々のお話を聞いて、「強く生きる」という言葉にぐっと心が動かされました。また、戦争を体験することはできないが学ぶことはできる、という言葉聞いて、今以上に戦争についても一度考えていきたいと思います。



# 広島平和記念式典中学生派遣事業 活動レポート

作成:清里中学校 3年 坂田 咲

場 所	呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)
訪 問 日	令和4年8月6日(土曜日) 午後1時20分～3時30分
事前に調べたこと	呉市は当時アジア最大規模を誇っていた海軍の拠点となっており、多くの海軍施設、造船所、兵器工場、海軍兵学校や海兵団などの将兵の養成機関などが集中していました。また、呉市は空襲を何度も受け、多くの市民が被害を受けました。そんな戦争下で成長した、造船をはじめとした海事に関する技術や呉空襲の被害にあった人たちの当時の状況について学んできたいと思います。

## 1 戦艦大和

旧日本海軍が建造した、最強の砲撃力を誇り、防御力も従来の戦艦を凌駕していた世界最大の戦艦「大和」。

この戦艦「大和」の造艦に使われた技術は、今も自動車産業や家電などの物づくりの分野で使われています。



## 2 呉空襲と市民の生活

呉空襲では16万454発もの焼夷弾が投下され、2,000人以上の人が犠牲になりました。

戦局の悪化に伴い、食料不足に悩まされるようになった一般市民の生活は戦争一色となりました。



## 3 過酷な戦争

科学館には、戦艦「大和」の乗員のはがきや、特攻隊員たちの遺書、戦死者名簿が展示されていました。

家族へ宛てたはがきや遺書は戦争の悲惨さを感じられました。

また、戦死者名簿を見た時はその多さに圧倒されました。

## 感じたこと、伝えたいこと

「戦争はあってはならないもので、いいことなんかない」と思ってきたけれど、科学館を訪れて、戦争下で発展した技術が今も多くの人に利用されていることを知りました。

しかし、その技術の発展の背景には多くの人の犠牲があることも身に染みて感じました。

# 広島平和記念式典中学生派遣事業 活動レポート

作成:城東中学校 3年 小松 檜太

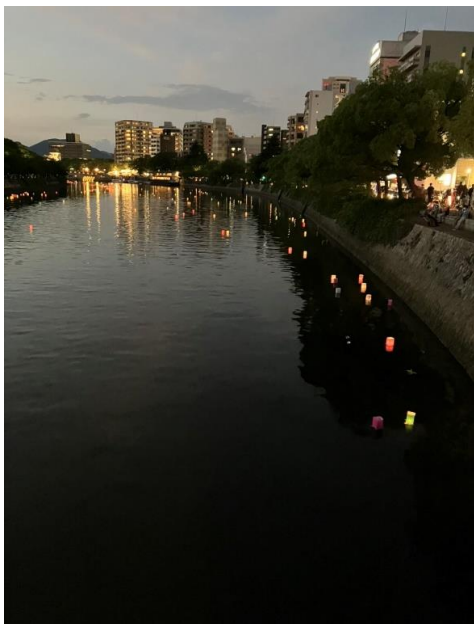
場 所	灯ろう流し 平和記念公園 元安川
訪 問 日	令和4年8月6日(土曜日) 午後6時45分～7時45分
事前に調べたこと	ろうそくに灯す火種は、福岡県八女市星野村で保存されていた原爆の残り火が使用されており、灯ろう流し実行委員の方が星野村で燃え続ける残り火を毎年採火しに行くそうです。



灯ろうの数だけたくさんの人々の平和への思いや願いが込められていました。

子どもから大人まで様々な人が灯ろう流しに参加していて、代々受け継がれていくものなんだなと感じました。

メッセージを記す紙には原爆の子の像に手向けられた折り鶴の再生紙が使われているものもあるそうです。



外国人の方から、「何のために灯ろう流しをするのですか？」と質問されました。

私は「原爆で亡くなってしまった人々が安らかに眠れますようにという願いを込めて灯ろうを流すのですよ。」とお話しました。

## 感じたこと、伝えたいこと

色とりどりの灯ろうがゆっくりと流れていく様子を見ていると、戦争で亡くなった人と戦後生まれの私達との繋がりのようなものが感じられる気がしました。

# 広島平和記念式典中学生派遣事業 活動レポート

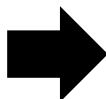
作成:事務局

場 所	厳島神社 安芸の宮島
訪 問 日	令和4年8月7日(日曜日) 午前8時00分～9時50分
研修内容	宮島のお土産といえば、「しゃもじ」を思い浮かべる方も多いと思います。お店に並ぶしゃもじには、「必勝」や「商売繁盛」と書かれており、勝運や商運を招く縁起物とされています。日清・日露戦争の頃、しゃもじが「飯を取る」ものであるから「敵を召し取る」という縁起物とされ、戦地に赴く兵士が厳島神社を訪れてしゃもじを奉納していたそうです。多くの観光客が訪れる宮島 厳島神社ですが、現在も島内には大日本帝国時代に広島湾、呉軍港へ敵戦艦が侵入するのを防ぐため設置された砲台の跡や弾薬庫が残っています。広島に原爆が投下された際、宮島の人々はこの弾薬庫が爆発したと思ったそうです。

令和元年度から始まった厳島神社 大鳥居の大規模修繕ですが、ついに令和4年中に足場が撤去される見込みとの発表がありました。前回の広島派遣から3年が経過しましたが、今年は大鳥居の姿をほとんど確認することができず、まるで別の建物が建っているようでした。



令和元年度 広島派遣時



令和4年度 広島派遣時



コロナ禍で実施された3年ぶりの広島平和記念式典中学生派遣事業。猛暑の中、マスクをしての移動はとても過酷だったと思います。そのような状況下でも生徒たちは感染対策をしっかりと行い、積極的に学ぼうとする姿勢を見せてくれました。代表生徒の皆さん、本当にお疲れ様でした。

## 感じたこと、伝えたいこと

今回の派遣事業の中で宮島にある戦争遺跡の見学は行いませんでしたが、人々が集う華やかな観光地にもかかわらず戦争跡が残っているのです。

# 非核平和友好都市宣言

私たちの上越市は、美しい自然のなかに歴史や文化の息づく、薫り高いまちです。この郷土を大切に守り、生きがいのある豊かな社会を築いていくことが、今の私たち市民に課せられた使命だと思っています。

私たちは、これを根底からゆるがし、人類の平和と地球環境を脅かす核兵器の使用・実験は容認できません。世界唯一の被爆国の国民として、すべての国のあらゆる核兵器がすみやかに廃絶され、恒久平和が確立されることを強く願うものです。

そのためにも私たちは、この上越市から姉妹都市や国際交流の輪を広げ、世界の人々と友好のきずなを強めながら、互いの繁栄を図っていきます。

私たちの上越市は、戦後50年の節目にあたり、平和を求める決意を新たにし、ここに「非核平和友好都市」とすることを宣言します。

平成7年12月20日

上越市